



2008年12月期 第3四半期 業績概要

2008年11月5日

株式会社フォーサイド・ドット・コム

証券コード: 2330

- I . 第3四半期業績の概況

- II . Vindigo, Inc. 連結除外について

- III . 米国事業再編スキーム

I 2008年12月期 第3四半期業績の概況

2008年12月期 第3四半期(累計) 連結損益状況

2G事業からの撤退と国内3G事業への経営資源の集中により、
3Qでの米国子会社Vindigo, Inc.の非連結化を完了。

(単位:百万円)

	2008年第3四半期 (累計)		2007年第3四半期 (累計)		増減率
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	(%)
売上高	3,804		8,776		-56.7%
売上総利益	2,743	72.1%	6,844	78.0%	-59.9%
販売管理費	3,116	81.9%	6,792	77.4%	-54.1%
営業利益	△ 372	-9.8%	51	0.6%	-
経常利益	△ 393	-10.4%	△ 88	-1.0%	-
四半期純利益	△ 184	-4.8%	222	2.5%	-

※2007年12月期
海外子会社売却の為

2008年12月期 第3四半期(累計) 単体損益状況

4

単体事業の強化・集中により +67%の増収。

売上総利益では82%の増益となった。

(単位:百万円)

	2008年第3四半期 (累計)		2007年第3四半期 (累計)		増減率
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	(%)
売上高	3,232	-	1,928	-	67.6%
売上総利益	2,318	71.7%	1,273	66.0%	82.1%
販売管理費	2,509	77.6%	1,528	79.2%	64.2%
営業利益	△ 190	-5.9%	△ 254	-13.2%	-
経常利益	△ 206	-6.3%	△ 273	-14.2%	-
四半期純利益	△ 1,311	-40.6%	992	51.4%	△ 65.5%

2008年12月期 第3四半期(3ヶ月) 単体損益状況

5

単体事業基盤の再構築により、

第3四半期(3ヶ月)営業利益黒字化を実現。

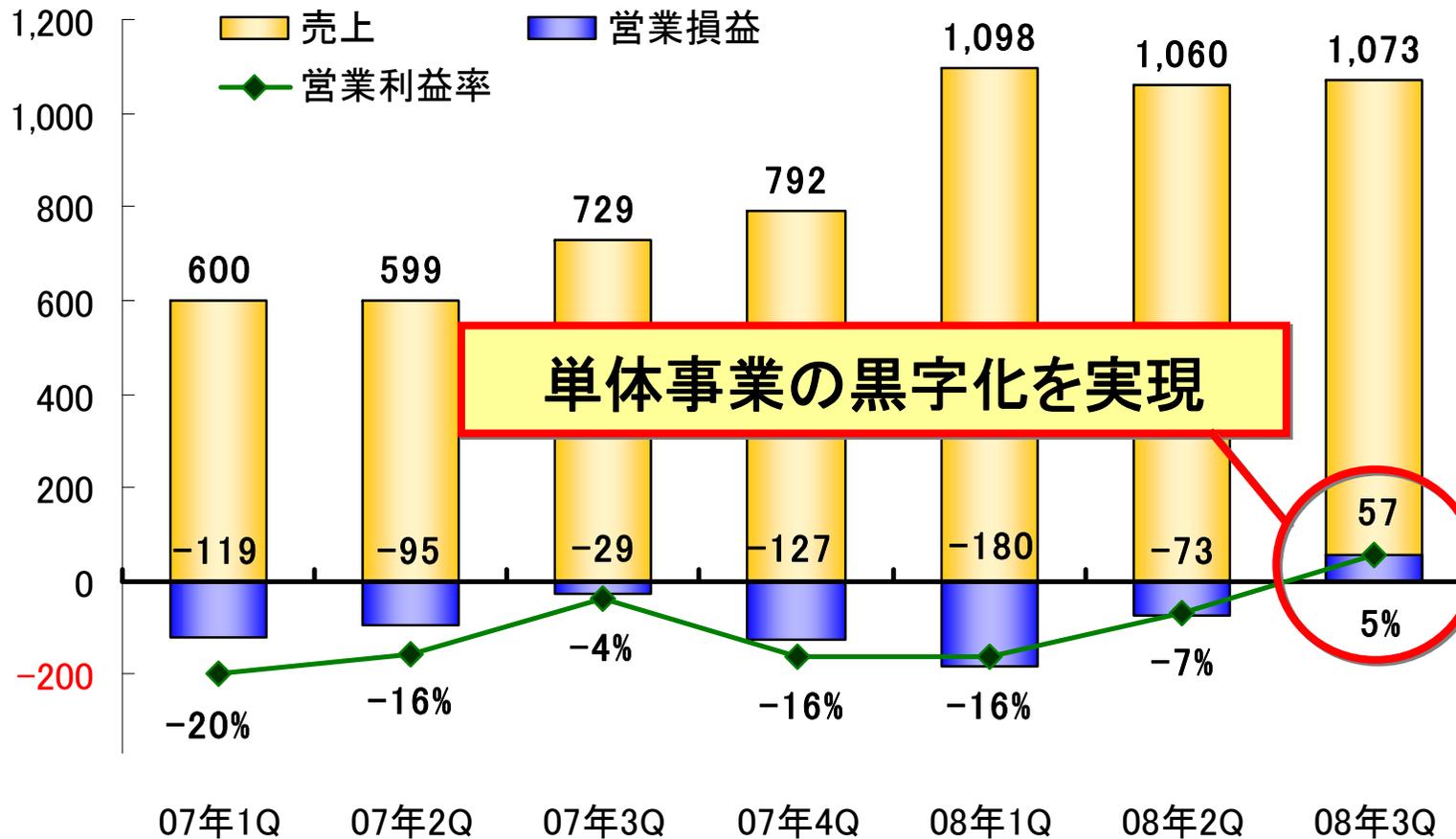
(単位:百万円)

	2008年第3四半期 (3ヶ月)		2007年第3四半期 (3ヶ月)		増減率
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	(%)
売上高	1,073	-	729	-	47.2%
売上総利益	772	72.0%	504	69.1%	53.2%
販売管理費	715	66.6%	539	74.0%	32.7%
営業利益	57	5.3%	△ 36	-4.9%	-
経常利益	56	5.2%	△ 94	-12.8%	-
四半期純利益	19	1.8%	113	15.6%	△ 65.5%

売上規模を維持しながら、販管費の大幅削減に成功

単体事業の黒字化を実現。

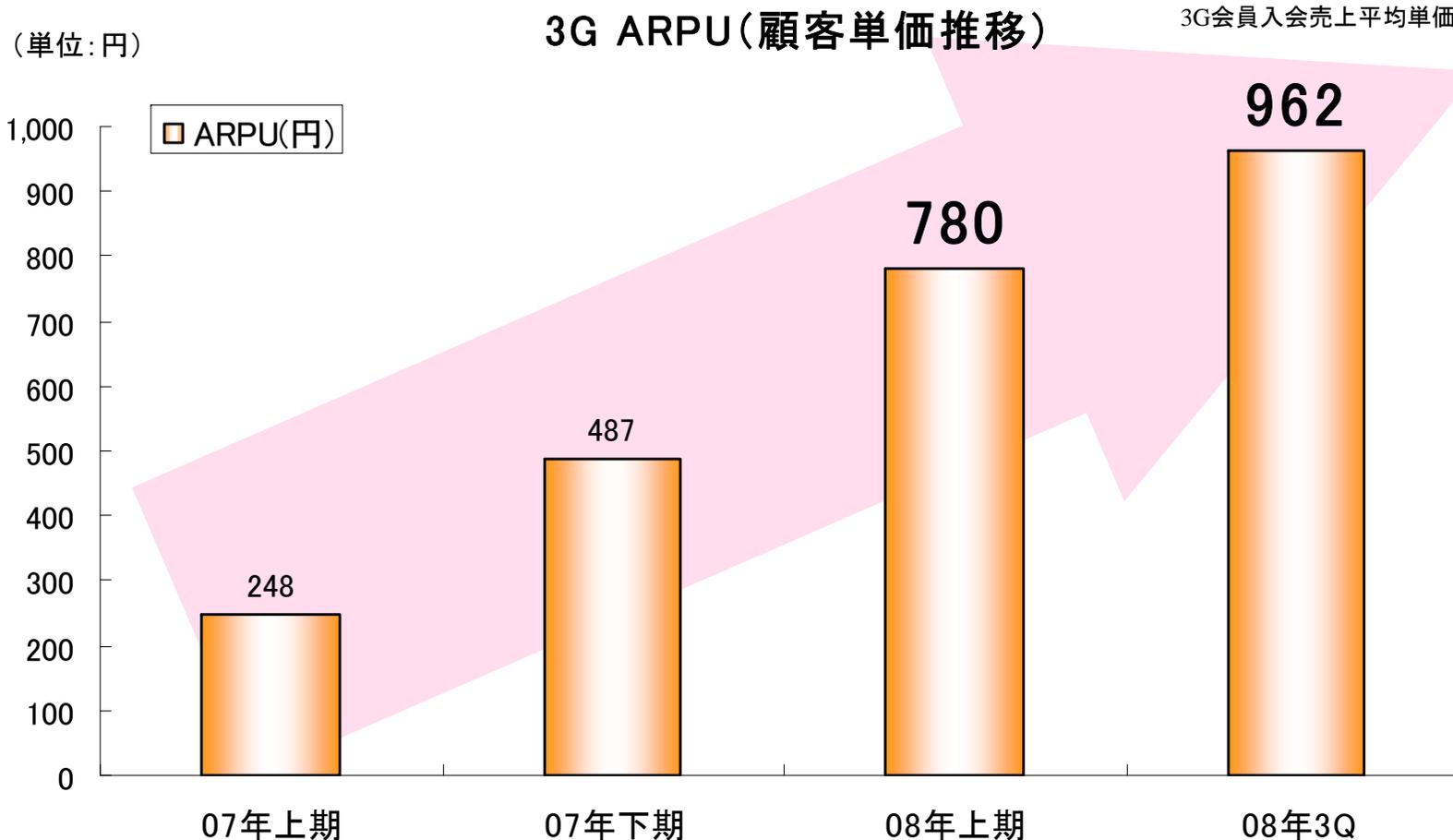
(単位:百万円)



3G向け高額商品の投入、サービスの総合化により

さらにARPUが向上。(08年上期比 +23%)

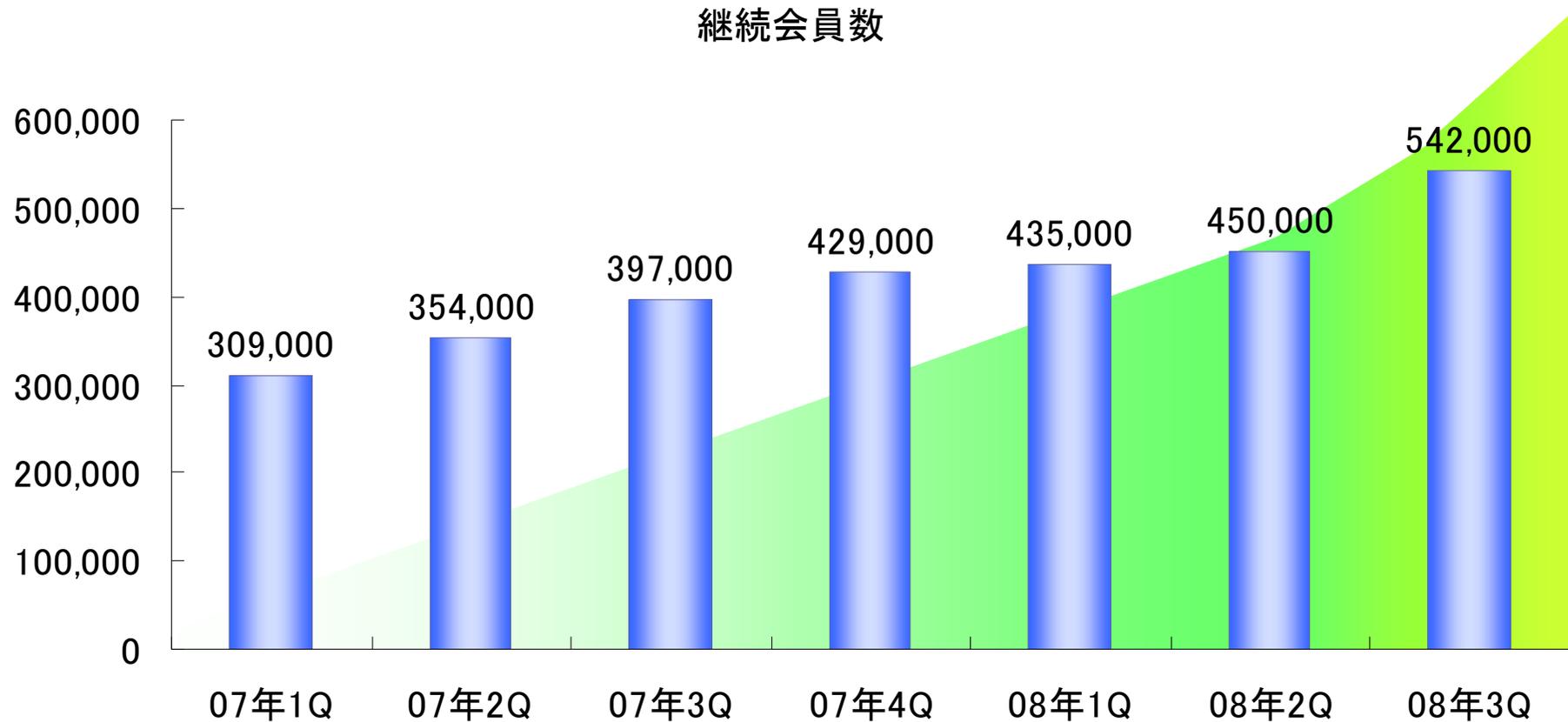
※docomo、au、SoftBankにおける
3G会員入会売上平均単価



3G有料コンテンツ継続会員数の推移

3Gコンテンツ会員数が大幅に増加し、

54万2千人(08年2Q比 120%)となった。



成長期にある電子書籍カテゴリに対し、

ニーズの高いコンテンツを積極投入。

キャリア	2008年3Q~4Q 投入電子書籍サイト	
docomo	高画質フル・ワイドコミック	※8月サービス開始
	即よみ・ド迫力コミック	※11月サービス開始
au	高画質フル★ワイドコミック	※10月サービス開始
	即よみ★ド迫力コミック	※12月サービス開始予定
	フルカラー☆コミックMODE ♪	※12月サービス開始予定
	コミック☆取り放題	※12月サービス開始予定
Softbank	高画質フル★ワイドコミック	※10月サービス開始
	即よみ★ド迫力コミック	※12月サービス開始予定
	フルカラー☆コミックMODE ♪	※12月サービス開始予定
	コミック☆取り放題	※12月サービス開始予定



© 二ノ宮 知子/講談社



© 龍門諒/恵広史/講談社



© 私屋カヲル/双葉社

フルカラーコミックや、大画面コミックといった
ユーザーニーズの高い、プレミアム商品を提供。

Ⅱ Vindigo, Inc. 連結除外について

米子会社 Vindigo,Inc. の解散・連結除外により、

各種リスク撤廃、当期純利益増加を実現。

304百万円の当期純利益増加インパクト ※連結除外益と清算コストのネット金額

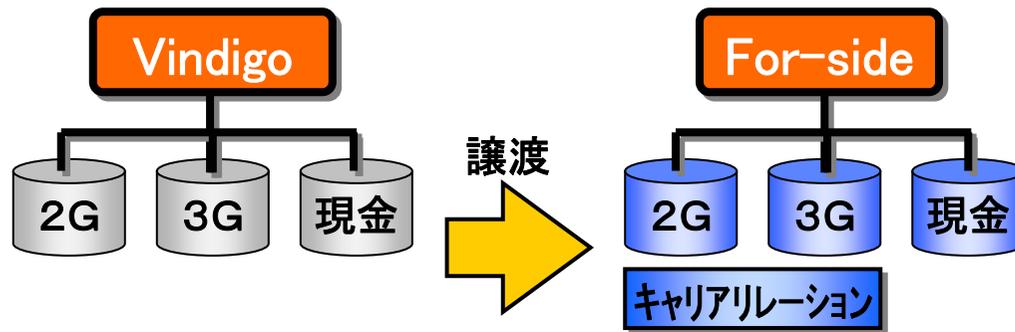
子会社連結リスクの完全撤廃

- ・Vindigo赤字体質 / 売上規模縮小
- ・キャッシュフロー悪化
- ・連結決算遅延リスク
- ・内部統制リスク

連結リスク・減損リスクを完全撤廃し、
黒字化した単体事業への注力へ。

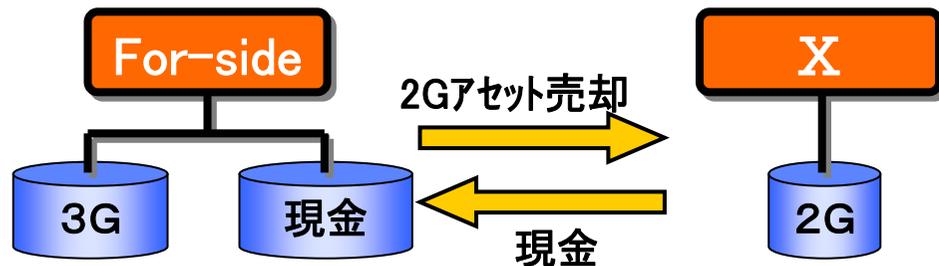
Ⅲ 米国事業再編スキーム

Vindigo事業の再編・資金化を行い、
フォーサイド本体で米国コンテンツ事業を展開する。



STEP1

- ・事業を本体に譲渡すると同時に、キャリアリレーションを単体に継承
※譲渡された事業は徹底したリストラクチャリングにより黒字化
- ・Vindigoの保有する現金を回収
- ・連結除外を実施



STEP2

- ・衰退期にある2Gアセット売却と現金回収
- ・キャリアリレーションを活かし3Gコンテンツの規模拡大を行う

単体事業へ投資

STEP3

- ・Vindigo清算完了
- ・本体主導で国内外コンテンツ事業を強化

—免責事項について—

本資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは本資料の作成時点において入手可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらには様々なリスク及び不確実性が内在しております。実際の業績はかかるリスク及び不確実性により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。かかるリスク及び不確実性には、市場リスク、日本円と米ドルとその他外貨との為替レートの変動、その他情報通信関連事業を取巻く様々なリスク及び当社が継続して業務を展開する上で不可避の潜在的リスクである経済状況、サービスの成否、他社との競争状況などが含まれますが、これらに限定されるものではない不確実性が含まれていることをご留意ください。

なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は株式会社フォーサイド・ドット・コムに属します。